

若狭ネット

88号 2005年 1月10日

発行：若狭連帯行動ネットワーク

代表連絡先 福井：「止めなくちゃ！

げんぱつ」連絡会(〒915-0235今立郡今立町不老6-36 山崎方 TEL0778-42-3630) 大阪：日高原
発に反対する大阪の会(〒583-0005藤井寺市惣社1-1-21 久保きよ子方 TEL/FAX 0729-39-5660)
ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~wakasant/> E-mail: wakasa@gaea.ocn.ne.jp

美浜 3号炉原発事故の再発防止対策はいまだに!?

この事故は、関電の徹底した経済性優先によって生まれたもの
私たちは、事故の責任を徹底して追及します

日時 2月9日(水) 午後6時から(予定)

場所 関西電力 本社 (参加される方は、久保までご連絡下さい。0729-39-5660)

2005年の新たな年がスタートしました。

昨年関電が起こした美浜 3号炉事故について、いまだに再発防止対策が出ていません。

それにもかかわらず、関西電力は美浜 1・2号炉の運転を再開しました。

私たちは、2月9日(水)に関電交渉を予定しています。この日は美浜 2号炉事故から14年目に当たります。美浜 3号炉の 2次系配管の破裂事故は、配管の安全点検は下請け業者に丸投げしていること、また、関電は、この事故が起こるまで、配管の減肉状態を全く知らなかったと言いつ張っていますが、これはごまかしであることをはっきりさせ、原発を運転する資格などない社風のお粗末さを暴き出したいと思えます。共に責任を追及しましょう。ぜひご参加下さい。

阪神淡路大震災から10年

新潟中越地震とスマトラ島沖地震を教訓に
原発の耐震性を考える 学習会



【写真】 阪神淡路大震災

震災発生から3時間45分後。

倒壊した阪神高速。現代日本の建造物はあまりにもろかった。

(1995年1月17日午前9時30分ごろ。神戸市東灘区深江で。神戸大学ニュースネット委員会より転載)

日時 1月23日(日) 午後1時半から4時

場所 東淀川勤労者センター 新大阪駅下車 徒歩10分

よみがえる震災の記憶

今から10年前に、阪神淡路大震災が起こりました。地元福井では、**「もし直下地震が原発を襲い、大量の放射性物質がまき散らされたら、どこへ逃げることができるのだろうか」という大きな問題が提起されました。**

地震による大きな犠牲を目の当たりにして、直下地震の恐ろしさを改めて思い知らされました。私たちは、このような直下地震が原発を襲えば、現在の耐震設計では持たないことを暴露し、訴えてきました。原発は短い周期の地震動(ビビリ振動)に非常に弱いことを中心に、耐震設計の不備を暴いてきました。

新潟中越地震は警告する

あれから10年経った今、新潟中越地震が起こりました。この地震では、大きな揺れ(本震)が起こった後も、次々に大きな余震が続きました。もし、直下地震が原発を襲い、少しでも亀裂が入ったり、変形したり、サポート部が壊れたりすれば、その後の大きな余震で、破壊が一挙に進み、ついには大量の放射性物質を周辺にまき散らしてしまうことになるのではないかと**、**という新たな地震の問題を提起しました。

巨大地震による津波の恐怖

そして、スマトラ島沖巨大地震では、大津波がインド洋周辺諸国を襲い、多くの人々が犠牲になりました。テレビ報道で、津波が襲っているのを見るたびに、このような大津波が起こり、**「浜岡原発を襲えばと考えたとき、またもや「津波」という新たな問題にぶち当たります。**

津波による原発施設の土台の崩壊や、地震に弱いタービン建家の崩れから、原子炉建家に大きな影響がもたらされるかもしれないのです。

東海地震、東南海地震など、大きな巨大地震が起こるといわれています。このような地震が日本の原発を襲えば、人々の生命、健康、生活、経済などが一体どうなるのか、多岐にわたり考えねばなりません。取り返しのつかない事態が起こる前に、**「なんとしても原発を止めていかねばなりません。日本が壊滅するといふ大惨事も想定しなければならぬほど緊迫した時代に突入しているのではないのでしょうか。」**

1月23日には、これらの起こった地震から、**「原発の耐震性を考える学習会を開きます。」**

「ぜひとも参加してください。大いに話し合いましょう。」

新聞折り込み基金にご協力ありがとうございます。

美浜3号炉事故が起きてから、6か月が過ぎました。

この事故で、関電は、いかに安全点検がよい加減なのか、安全管理すらできないということを明らかにしました。それにもかかわらず、美浜1・2号炉は運転を再開しました。

そのときに、松下さんが定期的に出されている「かわら版」の特別号として、美浜町中心に新聞折り込みをしました。

新聞折り込み基金にご協力をくださりありがとうございました。

皆さんのカンパで、まかなうことができました。今後ともご協力をお願いします。

新聞折り込み 1口 500円 (何口でもよろしくお願ひします)

郵便口座 若狭ネット 00940-2-100687

ご連絡は、久保まで 0729-39-5660

1月23日(日) 午後1時半から4時
新潟中越地震とスマトラ島沖地震を教訓に
原発の耐震性を考える
学習会



場 所 東淀川勤労者センター

(倒壊した町並み - 阪神淡路大震災)

新大阪駅下車 徒歩10分

2月6日(日) 午後2時から
環境・エネルギー・平和教育のひろば 第4回
「終わらない被害、持続する闘いー水俣病は伝える」

場 所 荻田土地改良会館 (地下鉄 我孫子 駅 下車 東南歩いて7分)

2月9日(水) 午後6時から
美浜2号炉事故から14年
「美浜3号炉事故について問いたただす」 関電交渉 (予定)

場 所 関西電力本社 地下鉄四つ橋線 肥後橋 駅下車5分

3月13日(日) 午後1時半から 5時
「ヒロシマ・ナガサキから60年 - 戦争と核、反戦と反核を記憶し伝える」

場 所 東淀川勤労者センター

編集後記

昨年末のスマトラ島沖の巨大地震による津波の被害に心を痛めています。

読者からのたよりによれば、インドには、13基の稼働中原子炉と再処理工場などの核施設があり 今回の被害地域には、チェンナイの南東76kmに、カルパッカム核コンビナートがあります。このコンビナートの面積は約50平方キロメートルで、加圧水型重水炉2基、実験炉1基、再処理工場、および建設中の高速増殖炉原型炉があります。

1基の重水炉は津波襲来後停止したとのことです。津波は施設を直撃し、高速増殖炉の建設作業にあっていた労働者数名が死亡。近くの職員事務所では津波のため科学者10名あまりを含む65人が死亡したと言われます。

巨大地震が原発を襲う前になんとしても原発を止めないと!

きよ子